

平成 27 年度第 4 回知立市総合教育会議議事録

審 議 日 時	平成 27 年 11 月 5 日（木） 10:00～11:02			
審 議 場 所	第 9 会議室			
出 席 者	市 長	教育長	蔭山委員	竹内委員
	宇納委員	太田委員		
事 務 局	企画部長 教育部長 企画政策課長 教育庶務課長 生涯学習スポーツ課長 文化課長 企画政策担当 教育庶務担当			
議 題 1	教育大綱について			
議 題 2	その他			
司会（事務局）	<p>それでは定刻となりましたので、只今より平成 27 年度第 4 回総合教育会議を開催します。よろしくお願いします。</p> <p>まず、前回会議の議事録についてですが、現在、委員の皆様にもご確認いただきました通り、知立市ホームページにて、公開をいたしております。一部訂正箇所があるということでございましたので、ご指摘の通り修正させていただきます。前回、総合教育会議におきまして、教育大綱の素案を提示させていただき、修正を加えながら、委員の皆様にはご審議いただきました。その後、協議をしまして、今回の資料の通り、教育大綱の第 2 次修正案を作成しお配りいたしました。事務局といたしましては、最終案の策定までできればと思っております。よろしくお願いします。</p> <p>それでは、これより、議長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p>			
市長	<p>スポーツ文化の秋ということで、各町内では運動会が行われ、体育の日には福祉体育館では体力測定を行ったわけですが、ご高齢者の中には毎年やっていこうとおっしゃられる方もおられました。図書館では、知立市初めての試みとしてブックバトルも行いました。その折には、教育委員の皆様にはお声をかけていただきまして、職員の励みになっております。今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、今回も教育大綱の策定を進めてまいりますが、皆様にご提示させていただいた案は、前回の会議をふまえ、教育長とも相談し、素案の修正を行ったものです。</p> <p>まず、大綱前文に記載しました、平和で民主的な社会についての考え方ですが、これは教育基本法を参酌しております。また三番目の柱につきまして、潤いのある社会、という言葉に置き換えております。また詳細の部分につきましてはできるだけ明確にするよう修正をさせていただきました。</p>			
蔭山委員	<p>歴史“資産”とありますが、一般的には歴史“遺産”という表記が多いのではないかと思います。どのような理由で、歴史“資産”としたのか伺いたいです。</p>			

太田委員	私は、この案でよろしいかと思います。
竹内委員	私もこの案でよろしいかと思います。
宇納委員	まず、歴史"資産"とある点ですが、わたしも歴史"遺産"とするほうが良いと思います。また、3番目の柱の記述について、ここはこれまで蓄積された文化、文化財を保護していくという側面にスポットを当てていると読み取れますが、同様に、新しく生み出されている、もしくは、これから生まれてくる文化芸術にも重点を置くことが必要なのではないでしょうか。
教育長	まず、歴史"資産"についてですが、知立市第6次総合計画に歴史"資産"・文化財の保全活用との記述がありまして、そちらと表現を合わせる形を採用しております。
蔭山委員	歴史"資産"という表現になじみがないので、その点は気になります。
教育長	"歴史的な資産"ということではいかがでしょうか。
市長	わたしも"歴史的な資産"ということで、よろしいと思いますがいかがでしょうか。よろしければ、そのように訂正したいと思います。 また、宇納委員からご指摘ありました点ですが。
宇納委員	3番目の柱に関連して、戦争の写真のような近年のもので、そのままにしておくとおぼろしく消えていってしまうようなものや、職人がいなくなると消えてしまうような、伝統的な技法・技術のような無形文化には、知立では光が当てられていないように感じています。また、美術彫刻やその他様々な現在進行形の作品を残していくような、新しい文化に対する取り組みが必要であると思いますし、また併せて、それを観光化するような方策が必要ではないかと思います。それはすぐに結論が出る話ではないと思いますが、知立市には足りない視点だと思います。
市長	有形物・無形物を残していく活動に取り組んでいくという施策も、大綱の表現として、歴史的な資産"など"という文言に含んでいるという解釈をすることも可能だと思います。ただ、その場合、特に文言を追加する必要があるかご意見を伺いたいです。
蔭山委員	"適切な保存活用"という文言に、そういった意味も含まれると解釈できると思います。わたしはそれよりも、歴史"資産"としたことで、テーマに広がりをもたらされる印象を受けますので、やはり、新しい文化、という視点での記述を追加してはいかがかと思います。

教育長	<p>知立の仏壇を例に出しますと、技術は無形ですが、文化財等は有形でもありますし、それを伝承している職人たちは、やはり無形文化でありますから、表現として様々な視点を含むことを考えますと、現在の表現でよいと思います。新しい文化、新しい取り組みという観点も、現段階の案で、新しいという文言の追加が必要かという、”市民による文化・芸術活動の促進“という表現に、含まれると考えています。</p>
宇納委員	<p>発想の根底にあるのは、知立市には文化財保護・促進についてやらなければならないことが、まだまだ多くある、という点ですので、ここの部分の表現で、その必要性が感じられれば良いと思います。</p>
蔭山委員	<p>促進するという文言で、ご指摘のニュアンスが伝わるという考え方もできますし、強調するかどうかであると思います。</p>
宇納委員	<p>確かに、解説部分に記載することで補足するような書き方もあるでしょうし、細かいところを修正案に入れていくと収集もつかなくなりますので、今回の部分は、教育長の意見でよいと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。これから施策を展開していくなかで、皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思います。</p>
司会（事務局）	<p>それでは変更点をまとめます。1番目の柱について、事前にご指摘がありました点ですが、心身の育成を“目指して“を漢字表現から、ひらがな表現へ変更します。3番目の柱について、“歴史資産”を“歴史的な資産“に変更します。これらを修正し教育大綱の最終案を作成いたしたいと思います。</p>
市長	<p>その他の議題に入りたいと思います。委員の皆様、議題はございますか。</p>
教育長	<p>スケジュールについて、再度確認したいのですが。</p>
司会（事務局）	<p>次回総合教育会議は12月10日に開催し、パブリックコメントに関しましては事務局のほうで手続きを進めてまいります。</p>
蔭山委員	<p>教育大綱ができたので、これを市民に発表するいい機会を検討してほしいと思っております。</p>
司会（事務局）	<p>前回も同様のお話をいただいておりますが、現在は検討段階です。ただ、予算の制限もありますし、お金をかけてやる、という方向ではない形が望ましいと思っております。</p>

蔭山委員	また、これまでと違い今年度より総合教育会議において市長と協議する場が設けられているので、教育施策や予算についても市長に伺いたいところがあります。
市長	総合教育会議の場では、教育委員の皆さんには、純粹に教育施策についてご検討いただいて、予算の検討については市長部局にお任せいただきたいと思います。もちろん、予算も厳しい現状がありますので、例えば厳しい予算の中どのように工夫して、教育施策を推進していくかを、みなさんにお伺いするということはあると思います。
蔭山委員	もちろん、予算について、要望がしたいというつもりはないですが、これまでこのような場を設けられることがなかったので、コミュニケーションをとりつつ、教育委員の意見を聞いていただいた後で、予算査定が行われるようなことがあればよいのかなと思います。
司会（事務局）	確認として、総合教育会議では、教育施策の特に協議、調整が必要な事項を取り扱うこととなっておりますので、予算についての議論という場ではないということをご理解いただきたいと思います。
蔭山委員	われわれも教育施策を検討する上で、何年後に何をやっていくつもりがあるのかを市長に聞いていきたいと思っているわけです。
宇納委員	そうですね、直接市長のご意見を伺えば、例えば予算書や議会報告を資料として読むよりも、市長の展望へ理解を示すことができると思います。
市長	そうですね、総合教育会議は、教育委員会に対し、市長としての考えを説明できる場でもあると思っております。
教育部長	総合教育会議において諮りたい議題がありまして、市長部局との調整が必要な議題が主となりますが、これについては教育委員会へ諮り、その後総合教育会議で議論していただく方向で検討しております。
市長	はい。ありがとうございます。最後に事務局よりご連絡をお願いします。
司会（事務局）	次回の総合教育会議の日程ですが、12月10日（木）午後1時15分より、今回と同じ、第9会議室にて開催いたします。